

令和2年度第2回浜田地区教科用図書採択協議会議事録

1. 日時	令和2年7月15日(水) 9時30分から16時30分まで
2. 場所	江津市地場産業振興センター2階 研修室
3. 出席	各市町教育委員会教育長6名、保護者代表2名、事務局5名
4. 確認事項	(1)教科用図書調査研究報告、質疑 (2)教科用図書採択審議、選定 (3)その他
事務局	第2回浜田地区教科用図書採択協議会を開催する。 会長あいさつをお願いします。
会長	本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。 第2回採択協議会では、この1ヶ月間、調査員の先生方が調査された内容を報告いただき、教科用図書を選定することとしている。今日1日よろしくお願ひしたい。 それでは、本日のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料により説明。(資料1)
	(1)教科用図書調査研究報告、質疑
調査員代表	国語 事調査研究報告(資料3) 推薦図書はA社のもの。 理由としては、次のとおり。 ○全体が本編・基礎編・資料編の3部に整理され、「基礎編」では身につけさせたい力が整理されており、「資料編」では学びを深めることのできる資料が掲載されている。 ○教材の始めに「めあて」、終わりに「まとめ」を提示したり、学習の流れを示したりして、学習者が見通しをもちやすいように構成され、また、「問いかけ」を通して課題解決型の学習を図るなど、主体的・対話的で深い学びの実現をめざしている。 ○「書く」領域、「話す・聞く」領域では、学習の手立てを、具体例を用いつつ視覚的に分かりやすく整理している。また、文法教材においても例示を交え適切にまとめている。 ○キャラクターを登場させたりマンガを用いたりして、生徒の興味・関心を高めつつ、学習のねらいをとらえやすくしている。 ○学習の流れと具体例を整理して示すなど、読みやすいレイアウトにしたり、領域ごとにページの色を変えたりして、生徒にとって分かりやすい紙面になっている。

- 巻末の資料編では、各学年の発達段階に応じて、要約の仕方や情報の調べ方について示されており、課題解決型学習を支える内容となっている。また、手紙や新聞の書き方も紹介され、広く各教科の調べ学習に活用できるようになっている。
- QRコードを用い、動画資料などの補助教材に速やかにアクセスできると同時に、デジタルコンテンツを利用して多角的に学習支援ができるように作られている。

質疑応答

- | | |
|-------|--|
| 委員 | Q. 各学校にQRコードを読み取れる機器があるのか。 |
| 調査員代表 | A. 各学校に整備されているパソコンで読み取ることができる。 |
| 委員 | Q. 今後は情報活用能力が重要であると考えており、国語が他の教科にもつながるといった面でも、A社が優れているのか。 |
| 調査員代表 | A. 情報の取扱い方という学びについては、各社が力をいれていると捉えている。A社が優れているのは、教科書にキャラクターを使うことにより、同じ内容でも目でみて分かりやすく、生徒が手に取りやすい点である。 |
| 会長 | Q. キャラクターを使うことで親しみ易さが生まれ深い学びへつながるといった説明があったが、キャラクターによって学習の本題からずれることは調査員で議論とならなかったか。 |
| 調査員代表 | A. 議論にはでていないが、それぞれのキャラクターが意味を持って問いかけをすることで、生徒が興味関心をもつ学びにつながると感じている。 |
| 委員 | Q. 二番目にH社を説明されたが2番目によかったということか。 |
| 調査員代表 | A. そういう意味ではなく、調査報告書に記載した順番に説明した。 |
| 委員 | Q. A社は「本編」「基礎編」「資料編」の三編に分かれているが、生徒の学習へどうつなげていくのか議論とならなかったか。 |
| 調査員代表 | A. 議論にはでていないが、教材を使って学習の視点や課題を与える、それをどのように学習してきたのか振り返るために「基礎編」が役に立つ。要約の仕方や情報のまとめ方については、国語だけでなく他の教科にもつながるものと考えている。 |

書写

- | | |
|-------|--|
| 調査員代表 | <p>事調査研究報告（資料3）</p> <p>推薦図書はA社のもの。</p> <p>理由としては、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目標に向かって「見つけ→確かめ→生かし→振り返る」という流れを基本に分かりやすく構成されている。 ○ポイントを「書写のかぎ」によって確かめられるように工夫してある。 ○判型がA B判と幅広く、見開きのページが生かされ、図版や資料が大きく見やすい構成となっている。また、書き込み欄も多く設けられている。（P34, 38） |
|-------|--|

- 巻末の「書写活用ブック」の内容は、総合的な学習や学校図書館を使った学習だけでなく、生活の様々な場面で目的に合わせた活用ができるものになっている。
- 1年生の「小学校の学習を振り返ろう」(P5～13)、3年生の「文字のいずみ」(P94)で小中高の接続が円滑に行われるように配慮されている。
- 二次元コードがあり、運筆に合わせて解説がつき、丁寧な指導に役立てることができる。

質疑応答

会長

Q. A社の推薦理由の中に、小学校の振り返りに配慮されているとあったが、書写において小学校の学習を振り返ることは重要であると考えられるのか。

調査員代表

A. 中学校の書写は小学校より時数がかぎられているため、小学校での学習をもう一度落とし込むために振り返りが重要であると考えている。

委員

Q. 調査報告でI社については、シンプルで分かりやすい紙面であり小学校の確認や高校への接続が図れているとあったが、推薦したA社についてその点はどうか。

調査員代表

A. 各社とも小中高の接続が図られているが、小学校から中学校への接続が一番配慮されているのがA社であり、ステップがしっかりしているため指導がしやすいと考えられる。

委員

Q. A社は二次元コードがついているのか。

調査員代表

A. A社は目次に二次元コードがまとめてあり、「D」と書いてあるものが二次元コードのことである。

社会（地理）

調査員代表

事調査研究報告（資料3）

推薦図書はA社のもの。

理由としては、次のとおり。

- 単元の構成が「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」「まとめる」の構成になっており、課題解決型の授業の構成が行いやすい。
- 単元ごとに言語活動の充実を図る工夫がなされている。
- 豊富な資料やグラフにより、生徒が読み取ったり、比較したりでき、主体的に取り組めるよう工夫されている。
- ICTを活用した学習が展開できるページを多く設定している。
- 中国・四国地方の抱える課題について、前向きな記述が多くみられる。
- 「領土問題を抱える島々」の学習では、竹島について、位置や写真が掲載されており、詳しく説明もされている。
- 「スキル・アップ」において内容が多く記載され、基礎的基本的な内容を生徒が身につけられるよう工夫されている。

○適当な分量であり、生徒が学習しやすい内容の構成になっている。

質疑応答

委員

Q. 選定されたA社はわかりにくい用語について解説はあるか。

調査員代表

A. 解説されている。

委員

Q. 授業の進め方については課題解決型授業以外に他に何があるか。
中学校では課題解決型がやりやすいのか。

調査員代表

A. 当然、基礎的で基本的な内容を扱うものもある。課題解決型の授業を展開するにあたり、単元を貫く探究課題を設定しやすいのがA社である。

委員

Q. 社会の教科書ではとしては、地理、歴史、公民で「竹島問題」について記載されているが、他の分野の歴史や公民の教科書との関連について調査員で話題にあがったか。

調査員代表

A. もちろん歴史や公民での「竹島問題」の記載についても話題にあがった。

委員

Q. 地理において、QRコードを読み取るとどのような内容が出てくるのか。

調査員代表

A. 地球儀と世界地図の成り立ちや違いを説明した動画や写真などが出てくる。

社会（歴史）

調査員代表

事調査研究報告（資料3）

推薦図書はJ社のもの。

理由としては、次のとおり。

○日本の歴史を様々な視点から考えられる教科書である。

○節の冒頭の「タイムトラベル」でイラストを使って学習意欲を喚起する工夫と右上の「小学校で学んだ主な出来事」の年表で学習内容にスムーズに入れるような工夫がある。

○章末には時代の特色を3段階のステップで説明するコーナーがあり、年表や図表を使って課題に対する自分の考えをまとめ、友達との対話を通じて各時代を大観できるように構成されている。

○二次元コードが記載されており、学習内容に関連する動画や「章の学習を振り返ろう」の回答などが閲覧でき、タブレットやPCを使って自学自習しやすい。

○島根県に関する記載が随所に見られる。（荒神谷遺跡、西谷3号墓、石見神楽、石見銀山、竹島）石見神楽・石見銀山についてはコラムでさらに発展的な内容での記述がある。竹島については特設で発展的、今日的な課題に関する記述がなされている。

○特設ページを設け様々な立場の人々の見方を示す資料や地域の視点、未来の視点を盛り込んだ資料で多面的・多角的な考察を深める工夫がなされている。

質疑応答

- 会長 Q. O社の総括の部分に人権同和問題に関する記述について丁寧であるとあるが、推薦されたJ社についてはどうか。
- 調査員代表 A. J社についてもO社と同様に丁寧に記述されている。
- 委員 Q. 他の教科でも探究学習的な視点について評価があったが、J社はどうか。
- 調査員代表 A. 各章の終わりに3段階のステップがあり、段階的に難しい内容にステップアップできるようになっている。
- 委員 Q. 歴史は資料や説明の文章が多いように思うが、生徒が小学校での学習を深めていく観点で見たときにJ社は適切か。
- 調査員代表 A. 各章の初めに絵で比較できるものがあり、まず視覚から小学校で学んだ内容を振り返れるようなページが設定されている。
- 委員 Q. A社は章末に「くらげチャート」や「Xチャート」などにより思考力、判断力、表現力を育成できるまとめがあるが、J社でも同様なものがあるか。
- 調査員代表 A. J社ではまとめたうえで、さらに友達と対話しながら深められる構成になっている。
- 会長 Q. J社について、日本の歴史を様々な視点から考えられる教科書であるとあるが、解説をお願いしたい。
- 調査員代表 A. 様々な立場の人物に関する資料が掲載されており、その人物を通してその時代を把握することができたり、特別な地域に視点をあてることを通して、地域の見方について学ぶことができるということである。

社会（公民）

- 調査員代表 事調査研究報告（資料3）
 推薦図書はA社のもの。
 理由としては、次のとおり。
- 各章ともはじめに単元の学習を貫く「探求の課題」を設定し、節ごとに「探求のステップ」や最後の「まとめの活動」で解決しながら、「探求課題」にせまる単元構成になっている。
 - 見開きページごとの「学習課題」「チェック」「トライ」と生徒にとって授業展開がわかりやすく明記されている。
 - 言語活動や発展的に学習を進めていけるように工夫されている。
 - 成年年齢が18歳に引き下げられることに向けて、「18歳へのステップ」として選挙と契約について取り上げ、意識が高まるように工夫されている。
 - 二次元コードによって、学習に役立つリンク集とつながったり、シミュレーションなどが行えたりするよう工夫されており、家庭学習にも役立つ。
 - 竹島について、本文のコラムの中で写真や島根県の新聞などを資料に用いて、島根県の「竹島の日」制定について記述されている。
 - 優しい色、照り返しの少ない紙面・マークで色覚特性がある生徒にも判別できるようにしている。見やすく、読み間違いが少ないユニ

バーサルデザインフォントを採用している。

質疑応答

- 委員 Q. SDGsとは具体的にどういったものか？推薦されたA社には記載がないのか。
- 調査員代表 A. A社にも「持続可能な社会の実現に向けて」ということでSDGsが記載されている。SDGsとは「持続可能な開発分野」として17分野にわたる地球レベルの開発目標のことであり、各社とも扱っている。
- 委員 Q. 二次元コードについてA社が優れている点があるか。
- 調査員代表 A. 各社とも工夫されているが、A社は他教科の教科書との連携があり、例えばSDGsについては技術分野について関連しているので、技術の教科書が表示されるなど工夫されている。
- 委員 Q. 選定されたA社は前回採択された教科書会社とは異なる点については、どう考えているのか。
- 調査員代表 A. 公民分野については教科書会社が割とよく変わるもので、前回の時も前々回の採択から変わっている。調査員の協議の結果、Aは単元を貫くところが非常に分かりやすいためポイントが高く、読みやすい紙面の色など配慮されているところが、僅差ではあるが他者を上回った。

地図

- 調査員代表 事調査研究報告（資料3）
推薦図書はJ社のもの。
理由としては、次のとおり。
- 地図帳の使い方の説明が丁寧で、1年生の段階から使いやすいように配慮されている。
 - 地図が見やすく、また索引も調べやすい工夫や編集がしてあるため、生徒にとっても使いやすいものとなっている。
 - 鳥瞰図が多く用いられ、立体的に捉えることができるよう工夫されている。
 - 「地図活用」「読図の視点」が設けてあり、地図を見る視点や技能とともに思考を深めることができる。そのため課題設定の手助けになり、自分で調べてみようとする意欲づけにもつながる。
 - QRコードを使うことで、各自必要な資料を得たり、動画などの視覚的な情報も活用したりできる。また、家庭学習や発展的な学習にも活用できる。
 - 防災についての資料が豊富で、地域で生活していく視点を育むことができる。
 - 地理的分野だけでなく、歴史・公民的分野と関連づけた表記もあり、どの分野でも適切に活用することができる。
 - 竹島の位置や写真の掲載、島根県などにイラストを交えることで特産物や歴史的な史跡を分かりやすく紹介している。そのため、ふる

さと島根への愛着を深めることにもつながる。

質疑応答

- 委員 Q. 選定された J 社は、地図を立体的に捉えることができるよう工夫されているとあるが、世界全体を捉えることができるのか？
- 調査員代表 A. そのとおりである。特にヨーロッパの鳥瞰図は生徒を惹きつけるものである。
- 委員 Q. J 社の選定の理由に、防災についての資料が豊富とあるが具体的にはどういったものか？
- 調査員代表 A. 防災を考えるきっかけとして、この中国地方でいうと、2018 広島土砂災害の様子が記載されており、災害が起きた地域は、昭和以前から土砂災害が起きていたという歴史的な背景も記載されている。

数学

- 調査員代表 事調査研究報告（資料 3）
推薦図書は A 社のもの。
理由としては、次のとおり。
- 大事なことがカード表示になっていて、押さえるポイントがわかりやすい。
 - 関数において、表・式・グラフのつながりがわかりやすくまとめている。（2 年 P70）
 - 章の最初には、身近な場面がイラストで提示されたり、キャラクターの会話、疑問などを吹き出しで表現されており、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。
 - 節のまとめでは、問題の横にふりかえる内容を示すページが書いてあり、学び直しがしやすい工夫がされている。（3 年 P30）
 - 数学の自由研究では、数学の歴史や他教科との関わりがわかる教材がのせてある。（1 年 P251）
 - 大切にしたい数学の学び方（1 年 P6）で、問題発見、解決の過程をわかりやすく提示し、章末の利用問題では、その流れで主体的・対話的な学習ができるよう工夫されている。（1 年 P25）
 - 例題の説明部分やポイントになる部分はカラーで分かりやすい表記になっている。
 - 「考えてみよう」「調べてみよう」というところから課題に向かわせる構成になっており、主体的な学びにつながっていく。
 - ウェブコンテンツは、シミュレーションや動画がいろいろ準備されており、視覚的に内容をとらえることができるようになっている。

質疑応答

- 委員 Q. バーコードリーダーという表現は QR コードと異なるものか？ QR コードからどんなウェブコンテンツが示されているか？
- 調査委代表 A. QR コードのこと。問題の解説に重視をおいていたり、視覚的に

委員

捉えることを重視しているものなど各社工夫されている。例えば、問題に対する回答が順を追って示した動画を自学で使用したり、立体図形の問題で面だけで分かりにくい部分を絵が動くことで立体を把握しやすくなるものがある。

調査員代表

Q. 数学はできる子とできない子との差が付きやすい教科と思うが、そういった点でA社はどの生徒にも親しみ易いものか？

A. A社は、どこに振り替えればいいのか、どこをみていいかわからないところが分かりやすくページで示しているところが優れている。

調査員代表

理科

事調査研究報告（資料3）

推薦図書はA社のもの。

理由としては、次のとおり。

○主体的かつ対話的な学習が進められるようなワークシート(自分の考えを記入することができる)が盛り込まれている。(3年P19)

○各節の導入部の「レッツスタート!」で問題発見をし、実験や観察を経て振り返り、活用という配列に学習の流れが構成されており、生徒の主体性を高め、見通しをもって学習に取り組めるようになっている。

○「Before&After」が各章の前後にあり、学習を振り返り、生徒が自分自身の成長を実感できる機会がある。

○自分でまとめや確認がインターネットを活用した学習ができるところに「Dマーク」がついている。(1年P114)

○「つながる科学」で科学の歴史や世界につながる日本の技術などが紹介されており興味をひく。(3年P243)

○ページ下部に示された活動枠やフローチャートにより、生徒が探究の流れや現在の活動の意味を把握しやすくなっている。

○「学びをいかして考えよう」は学んだことが生活の中でどうなっているかを考えることができるため、自由研究のような発展的な学習に取り組む手立てになる。(1年P41)

○写真や図が単に多だけでなく、紙面の配色や大きさ、レイアウトが工夫されたユニバーサルデザインになっていて読みやすい。

質疑応答

委員

Q. 選定されたA社の教科書は他の教科書会社より縦長だが、どのように生かされるか。

調査員代表

A. 開いた時に一度に視野に入りやすく、横に目を動かすより上下に目を動かすほうが見やすいと感じた。

委員

Q. 縦長が画期的だと思ったが過去に採用されたことがあるか。

調査員代表

A. 過去に記憶にない。ただし、サイズが変わったからといって掲載内容が減ったわけではなく、字の感じもユニバーサルデザインで色の違いが少なく薄く読みやすい。

- 委員
調査員代表
委員
- Q. A社はQRコードの活用はされているか。
A. A社は「Dマーク」というものが掲載され関連情報が表示される。
- Q. 調査報告書のE社について、課題設定から実験、結果、考察といった過程がまとめて掲載されており探究しやすくなっているとあるが、A社でも探究プロセスは分かりやすくなっているか。
- 調査員代表
委員
調査員代表
- A. ページ下部に「フローチャート」があり、生徒が今どこをやっているか流れを把握しやすいのでプロセスが分かりやすい。
- Q. A社は小学校や高校との接続については掲載されているか。
A. 各章の最初にはこれまで小学校で学んだ振り返り、高校へは「つながる科学」でさらに発展的な内容が掲載されている。

音楽

- 調査員代表
- 事調査研究報告（資料3）
推薦図書はH社のもの。
理由としては、次のとおり。
（一般）
- 音楽と社会や世界との関わりのリンクが見えやすく示されている。音や音楽が身の周りの生活や社会の中で、どのような関わりや役割を果たしているか、身の周り➡社会➡世界と視点を広げられる内容になっている。
 - 音楽を形づくっている要素が左側に見出しで表記され、生徒が流れや内容をつかみやすくなっている。（1年p10～64）
 - 色（寒色背景に白色の文字）写真（囲みで認識しやすい）・文字（UDフォント）において、細部にわたりユニバーサルデザイン化が図られている。
 - 地域の郷土芸能について取り上げられていることにより、地域に根ざした伝統音楽を理解する手助けになる（2・3年上で石見神楽、2・3年下裏表紙で出雲神楽）
 - QRコードを用いることで、関連した教材や事柄について知ることができ、家庭・学校を問わず、より深い学びへと結び付けていくことができる。
 - 全体として、曲の中身を連想させる色の工夫がしてある。レイアウトがスムーズであり、支援の必要な生徒に対しても、音楽に苦手意識を持った生徒にも、読みたくなるような工夫が随所にされている。
 - 新学習指導要領に示された3つの資質・能力とそれに対応する学習内容や教材が系統立てて記されていて、教師が1年間の学習計画を立て、評価規準を考えやすい。（1年、2・3上下p8, 9）
- （器楽）
- 打楽器が3つ増え、さまざまな奏法についても記載されている。（カホン、ジェンベ、ドラムセット）（p74）
 - リコーダーでは、1ページにアルト・ソプラノの両方で演奏できる内容になっている。
 - アンサンブルセミナーでは、左ページで学習目標、音楽を形づくる

要素、記号や用語など、右ページに活動手順の吹き出しが構成されていて、深く考えられるようになっている。

- 教科書の冒頭に、一流アーティストへのインタビューや演奏写真を掲載することで、楽器を演奏する意欲づけにつながっている。(p2～5)
- 篠笛や太鼓に「太鼓を使った各地に伝わる郷土の祭りや芸能」について写真で示すことで、一般教科書との内容の関連をはかることができる。(p56, 62)
- 考えるポイントについて、図や写真で分かりやすく説明してあり(良い例だけではなく悪い例も掲載されており)個人でも取り組みやすいものになっている。
- 中学生の器楽の学習内容がまとめられ、音楽科で身につける資質・能力と、その学習の支えとなる音楽を形づくっている要素との関連が示されている。(p8, 9)
- 生活や社会の中の音や音楽について触れられるよう、幅広いジャンルの楽曲が掲載されている。また、実態に応じて、楽器だけでなく唱歌でも演奏ができるように配慮がなされている。

質疑応答

委員
調査員代表

- Q. 一般と器楽の教科書は同じ教科書会社でないと難しいか。
A. 内容が多々リンクしているので同じ教科書会社であることが望ましい。

委員
調査員代表

- Q. この浜田地区管内でふさわしいのはH社であるか。
A. 生活に則した身近な楽曲が多く、生徒が共感できる内容が多くふさわしいと考えている。

会長
調査員代表

- Q. 和楽器については学校で触れることは難しいが、H社は写真がふんだんに掲載されているためG社より適切であるということか。
A. 和楽器の構造や演奏方法についても詳しく写真があったり、流派等の内容もありH社が適切であると考えている。

美術

調査員代表

- 事調査研究報告(資料3)
推薦図書はI社のもの。
理由としては、次のとおり。
○基本的な紙面構成が「鑑賞」・「表現」(発想・構想)・「表現」(みんなの工夫)・「鑑賞」となっているので、生徒が授業の流れに見通しを持てるように工夫されている。題材の導入時に「鑑賞」をし、ただ単に作品を作る作業ではなく、題材に対する思いや感情を大切にしていくというメッセージが一貫して生徒に伝わってくる。次に「表現」(発想・構想)の段階になると、どのように発想し、構想していくのか、その手立てをグループ活動や対話による学習方法を幅広く具体的に示しながら学習を支援している。さらに、「表現」(みんなの工夫)では、生徒がどのような思いをもって制作しようとしている

るのか、そのためにどのような技術的方法を工夫しているのかを段階的に紹介している。最後の「鑑賞」では、生徒が完成作品一点一点に掲載してある「作者の言葉」を読むことで、作者が「思い」をどのように「表現」したのかを知り、造形的な見方・考え方を広げることができる構成になっている。

- 教科横断的な学びが各教科で発展的に展開されるような提示が多くあるところが特徴的である。道徳科をはじめ、国語科、数学科、社会科、理科、家庭科、実生活への発展などと多教科にわたり丁寧につないでいる。
- 鑑賞がより効果的に行えるよう、見開きを活用して原寸大にしたり、比較しやすいレイアウトにしたりするなどの工夫が見られた。また、紙質を変えて触覚に訴えかけるページを作ったり、書き込むことができるページを作ったりと生徒の興味・関心を引く仕掛けが多くあるところが魅力である。
- この教科書の内容が、作品重視ではなく、作者の思考重視になるように構成されていて「学習の手引き」に匹敵する細かな配慮の元、丁寧に段階を追って解説してあるものなので、美術に苦手意識を持った生徒でも、親しみをもって楽しく取り組める教科書になっている。さらに、言語活動を意識的に取り入れる発問や学習過程を展開する紙面構成は、より学習指導要領に沿った内容と言える。

質疑応答

- | | |
|-------|---|
| 委員 | Q. 選定された I 社のようにトレーシングペーパーや和紙など紙質を変える工夫は過去にあったか。 |
| 調査員代表 | A. 紙質を変えることは過去にもあったが、トレーシングペーパーを使った教科書は過去に記憶がない。 |
| 会長 | Q. 現在使用している O 社も優れていると思うが、I 社を選定した決定的な理由は何か。 |
| 調査員代表 | A. 生徒自身に考えさせることができるのが I 社である。O 社は見栄えも良く生徒の興味をそそるものではあるが、教師が指導要領に沿って意図して発問していく必要がある。教師が意図しなくても教科書に沿っていくことで深い学びができるのは I 社である。 |

保健体育

- | | |
|-------|--|
| 調査員代表 | 事調査研究報告（資料 3）
推薦図書は P 社のもの。
理由としては、次のとおり。 |
| | ○「課題をつかむ」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」の流れが各学習内容ごとに示され、授業の流れもスムーズで、生徒の理解にとっても有効である。 |
| | ○図やイラストが大きく、また写真が効果的に掲載されているため、興味関心を引く要素と理解を進める要素とが両立できている。 |
| | ○章末の「探求しようよ」では学習内容をより発展させたり、他教科 |

- と関連づけたりする上で有効な資料が豊富に掲載されている。
- 各学年の終わりに、1年間を振り返ることができ、自分の生活作りに生かすことができる。
 - 各時間の最初の「課題をつかむ」が考えやすい内容で導入として適している。
 - 「考える・調べる」では実生活と照らし合わせながら考えたり、意見を出し合ったりする学習が促され、多様な学習形態に発展できる。
 - 文字と図やイラストとのバランスがよく、見やすく構成されている。

質疑応答

委員

Q. A社は各学年の実態に応じた単元配列ができるとされているが、選定されたP社はどうか。

調査員代表
委員

A. P社でも可能である。

Q. K社は学習のまとめが毎時間あって振り返りやすいとのことだが、P社は毎時間ではなく章ごとに振り返りをするのか。

調査員代表
委員

A. Pも毎時間振り返りをしそれがつながっている。

Q. QRコードの各社の取り上げ方に違いがあった。

調査員代表

A. 巻頭に取り上げるか、巻末に取り上げるか、途中に取り上げるかの各社工夫されており、内容としては大きな差がないと感じている。

技術・家庭（技術）

調査員代表

事調査研究報告（資料3）

推薦図書はA社のもの。

理由としては、次のとおり。

- ガイダンスでは「技術の味方・考え方」から技術の最適化に迫っており、トレードオフの視点を理解しやすい。
- すべての内容において問題解決学習の流れに沿った学習過程が展開されており、設計・製作・評価といった学習が一連の流れとしてつかみやすい。問題解決学習の流れが、免許を持っていない教員にも理解しやすく指導につなげやすい。
- 「Dマーク」が記載された学習内容は無料のデジタルコンテンツが使用できることを示しており、フラッシュや動画などで学習における理解を補うことができる。
- 特に内容Aの製作学習において、点検・修正の仕方が丁寧に記載されており、修正の例は実際の現場で起こりやすいものを取り上げている。
- 内容Cの「ドライヤ分解シミュレーション」は、実際はブラックボックス化された内部の構造等をよりわかりやすく学習するための一助となっている。
- 各内容の終末には、既習事項の確認や大切な語句等がわかりやすくまとめてあったり、思考力・判断力・表現力をもちいて考える問いがあったりして、学習の振り返りが効率的にできる。
- すべての内容に「私の工夫」という発展的な学習・製作の例が載っ

ており、より深い学びがしたくなるような工夫がなされている。

質疑応答

- 委員 Q. A社の選定の理由にあげている「トレードオフの視点」とはどういったものか。
- 調査員代表 A. 易さを追求したら品質が劣るなど、一方の条件を満たすと一方の条件を満たされず、どこで折り合いをつけるか考えを育てる視点のことである。
- 委員 Q. 免許をもっていない先生が技術を教えるときは、よりA社がほうが適切に教えやすいのか。
- 調査員代表 A. ガイダンスから入って教科書の流れに従っていけば、問題解決学習につながる構成となっているA社の方が教えやすいと考える。
- 会長 Q. 推薦図書を決めるときに技術分野と家庭分野との連携が必要か、同じ教科書会社である必要があるか。
- 調査員代表 A. 家庭分野は別教科書であるため連携は必要ではなく、現在使用している教科書も別の教科書会社のものであるが特に問題はない。
- 委員 Q. 技術分野では対話的に問題を解決することがあるか。教科書にタイミングの指示があるのか教師が投げかけをするのか。
- 調査員代表 A. 解決策を意見交換しながら解決策を見いだすこともある。教科書に「友達とはなしてみよう」と意見交換を促す記載もある。

技術・家庭（家庭）

- 調査員代表 事調査研究報告（資料3）
推薦図書はD社のもの。
理由としては、次のとおり。
- 新学習指導要領に提示された項目ごとに内容が配列されている。特に島根県西部は免許外担当者が家庭分野を指導していることが多く、免許外担当者が学習指導要領に基づいて指導しやすい。
 - 各内容の最初に課題（問題提起）が提示してあり、生徒が主体的に考える学習となっている。
 - 各項目の最後に学習のまとめがあり、自分が学習した内容を確認することができる。
 - QRコードが掲載されているため、より具体的に理解することができる。また、生徒が自学学習に取り組みやすい。各ページに豆知識が掲載されていて、家庭分野について興味・関心を持つ手助けとなる。
 - 食品の見本や、切り方、幼児の手足の大きさなどが実物大の大きさを掲載されていて、生徒の興味を引きやすい。
 - 気候風土に合わせた住まいでは、島根県の築地松を取り上げるなど、より地域の特性に関心を持つ内容となっている。
 - SDGsとの関連が詳しく掲載されていて、グローバルな視点を持ちやすい。また「先輩からのエール」では学習した内容がどのように社会で役立つかがメッセージとして掲載されているため、生徒が

将来の職業などについて考える一助となる。

- 社会情勢を反映した、最新の情報（成人年齢の引き下げ）等の掲載がある。
- 紙面がすっきりと見やすく配置されている。

質疑応答

委員

Q. 選定されたD社の選定の理由に、免許外担当者が指導しやすいとあるが、C社についても配慮があるように見える。両社の違いは何か。

調査員代表

A. これまで島根県内は県東部でD社、県西部ではA社の採用が多かったため異動を考慮したという点、また新しい情報が多く、生徒に衣食住だけでなくグローバルな視点ももてるのではないかと考えた結果D社を推薦した。

会長

Q. D社について認知症に踏み込んだ記載があると報告されたが、これまでは記載があったのか。

調査員代表

A. これまでは住まいの学習で幼児や高齢者にどのようなけががあるか取り上げていたが、認知症は生徒の家庭のこともあり少し踏み込みにくかった。認知症に踏み込んでいる点について、調査員ではD社にポイントをつけた。

英語

調査員代表

事調査研究報告（資料3）

推薦図書はA社のもの。

理由としては、次のとおり。

- 小学校で学習した単語のリストが掲載されているなど、小学校での学習のつながりを感じやすくなるよう工夫されている。
- 巻頭に各単元の目標が示され、見通しをもって学習するのに有効である。
- 巻末では、CAN-DO リストで到達度を振り返ることができるようになっており、自分の学びの達成度を確認するのに有効である。
- 1年生の教科書では、小学校の既習内容を復習しながら、中学校の学習へとつなぐ工夫がしてあり、スムーズに中学校の英語学習に入ることができる。
- 単元の最初の映像資料(Preview)は、学習する英語の使用場面や状況をつかみやすく、イメージを膨らませやすい。
- 2、3年では単元の最初に写真が提示されており、題材や内容への興味・関心が高まりやすい。
- ユニバーサルデザインや伝統文化、防災への取り組みなど、身近な暮らしや社会とも関連の深いことが取り上げられ、自分たちの生活と関連付けながら学習ができる。
- 単元の中に様々な活動が設定されており、複数の技能を統合的に活用できるよう工夫されている。

- 質疑応答
- 委員 Q. A社だけ教科書のサイズが縦長であることについて調査員で協議したか。
- 調査員代表 A. A社だけA4サイズと大きいのが、挿絵や写真等が大きくなっているから生徒の理解しやすさにつながると考えている。
- 会長 Q. 教科書のサイズが大きくなることによって英文の量が増えているのか。
- 調査員代表 A. 増えているという印象があり、たくさんの英語に触れる機会が増えることは必要なことである。
- 委員 Q. 語数が増えても教える時間は同じであるなど制約があるが、そういった点をどのように考えるか。
- 調査員代表 A. 限られた時間で取り扱う語数をどう増やしていくか、生徒が混乱しないように指導者が教科書を読み込んでポイントを把握できるように、早く教科書研究を行いたい。

道徳

- 調査員代表 事調査研究報告（資料3）
 推薦図書はP社のもの。
 理由としては、次のとおり。
- 全学年の巻頭ページで、道徳科で学ぶことや授業の流れについて示されており、授業のイメージをもちやすくする工夫がされている。
 - 巻頭の「マイプロフィール」、巻末の「心の四季」「学びの記録」により、生徒の自己理解を深め、自身の成長や心の変化を捉えられるよう工夫されている。
 - 全学年、2つのユニット学習が組み込まれており、テーマに沿って重点的に学習することができる。
 - 読み物、漫画、作文、伝記、新聞記事など、多種多様な形式の教材が掲載され、さまざまな授業展開が考えられる。また、時事問題や現代的な課題が多く取り上げられ、多面的・多角的に考え、議論につながる工夫がされている。
 - 新しい教材と定番教材がバランスよく配置されている。
 - 実生活に役立つ、ソーシャルスキルトレーニングが可能な資料が掲載されている。
 - 教材名の下に内容項目や発問になり得る一文が記載されており、興味・関心を高める工夫がされている。
 - 大田市の中学校が作成に携わった教材「金色の稲穂」が掲載され、地域の教材を生かして考えを深められるよう工夫されている。（1年 p.90-）
 - 教材にメモ欄があり、生徒が自分の気づきや考えを記入して考えを深めることができる。
 - 巻末には学期末ごとに振り返りができる切り取り可能なページが掲載されており、キャリア・パスポートの実践に生かしていくことが可能である。

	質疑応答
会長	Q. 現在はS社であるが、それを選定するときに別冊である道徳ノートが振り返りに役立つという経緯もあったが、今回はそのいったところの議論があったか。
調査員代表	A. 道徳ノートがあったほうがよいという議論があったが、それが無い分指導者の負担になっても生徒の考えが広がる教材が多く魅力的なP社を選定した。
委員	Q. P社にはいじめ等の記載があるか。
調査員代表	A. いじめ、偏見、差別についてはどの学年でも取り上げられている。
委員	Q. I社にはSDGsの記載があるが、P社にはどうか。
調査員代表	A. 直接的ではないか国際協力について取り上げられている。
	(2) 審議・選定
会長	それでは、各調査員から推薦された教科書について審議選定を行いたい。資料5を見ていただき、推薦された教科書会社について一種目ずつ確認していきたい。
各委員	<p>《国語》 異議なし</p> <p>《書写》 異議なし</p> <p>《地理》 異議なし</p> <p>《歴史》 異議なし</p> <p>《公民》 異議なし</p> <p>《地図》 異議なし</p> <p>《数学》 東京書籍</p>
委員	来年の2年生が新版の教科書を使う際、つなぎは問題ないか。
委員	教える内容に問題ないだろう。
	<p>《理科》 異議なし</p> <p>《音楽（一般）》 異議なし</p> <p>《音楽（器楽）》 異議なし</p> <p>《美術》 異議なし</p> <p>《保健体育》 異議なし</p> <p>《技術》 異議なし</p> <p>《家庭》 異議なし</p> <p>《英語》 異議なし</p> <p>《道徳》 異議なし</p>
会長	それでは、全ての種目について、調査員代表から推薦された教科書会社を選定した。
	今後のスケジュールについて、事務局から説明されたい。
事務局	資料により説明。(資料1・6)

会長	それでは、本日の協議会で選定した内容をもとに、各市町の教育委員会定例会で承諾を得ていただくことになる。各市町の教育委員会定例会の日程を伺いたい。
委員	浜田市は7月29日である。
委員	大田市は7月28日である。
委員	江津市は8月3日である。
委員	川本町は7月27日である。
委員	邑南町は7月28日である。
委員	美郷町は7月27日である。
会長	また、各教育委員会で承認を得られれば、第3回の協議会は報告事項だけとなる。従来であると保護者代表の方の出席はしていただくか、教育長さん方のみで集まっていたらいい。今回も引き続き、その形よろしいか。
各委員	一同承認
会長	本日は忙しい中、長時間お集まりいただき、ありがとうございました。 以上で第2回浜田地区教科用図書採択協議会を終了する。